

以下は、カモミール 2 用の Futaba 12K の設定例です。

送信機の設定に関するご質問は、送信機メーカーにお問合せ下さい。

送信機の機種によって機能が異なるので、他の送信機での設定は本資料を参考にご覧下さい。また以下の設定方法以外にも設定方法はあります。以下の設定方法を参考に、お客様の好みによって変更下さい。なお角舵の舵角等は実際に飛行して調整下さい。

具体的な操作は Futaba 12K の取扱説明書をお読み下さい。以下ページ数(説明書の時期により変わります)も記載します。

受信器チャンネル 1:LAil 2:Ele 3:Mot 4:Rud 5:Buzzer(Optional) 6:Flap 7:RAil

P76	モデルセレクト	Chamomile2
P78	モデルタイプ	グライダー、ノーマル、2AIL+1FLP、V テール
P83	ファンクション	Option : 5 AUX6 SF スイッチに割当 (サーボ用:素早く3回 ON⇔OFF で鳴る)
P96	トリム設定	T1,T3,T4 をコベツ(コンディション毎)にトリムをメモリーします。スタートやスピードモード毎に、エレベータートリム等を飛行しながら設定できて便利です。
P86	サーボリバース	回転方向設定(現時点ではフラップは未設定ゆえ動作しません。後で設定します)
P85	サブトリム	センター位置設定
P88	エンドポイント	舵角設定
P161	<u>モーター</u>	SG の中間と手前が ON (急激な ON/OFF は機体に衝撃が加わるので)ON/OFF にスピード設定 なお、アンプ(Tahmazo Pro.G A-15)はブレーキ設定します。
P127	コンディション選択	SE スイッチ、SG モータースイッチ、J2 ステックで以下の 5 モードを設定 ノーマル 通常モード (SE スイッチ中央) スピード SE スイッチ UP(奥) サーマル SE スイッチ DOWN(手前) ランディング J2 ステックがフルハイから少し下 スタート SG スイッチ DOWN(手前でフルハイ)、MID(中スロー) 上記の下ほど優先度が高いので、SE スイッチの状態に関わらず、SG スイッチを ON にするとスタートモードになります。 <i>(補足) ここで、ノーマルで設定した状態を他の全てのコンディションにコピーします。</i>
P129	デュアルレート	スピードモード時、エレベーターとラダーの舵角を減らし、エルロンは EXP 設定
P140	エルロンディファレンシャル	バタフライアジャストを設定 (エルロンアップ側の動作量を制限)
P142	フラップ設定	オフセット(*1)とフラップ動作量を設定
P145	エルロン→ラダー	ノーマルとサーマルモードで連動 (スムーズなサーマル旋回等で使用)
P147	キャンバミキシング	左スライドバー(LS)でフラップ&エルロン上下動作
P149	エレベーター→キャンバ	スピードモードのみ連動 (空戦フラップ効果を得るため等で使用)
P152	バタフライ	J2 ステックダウンでエルロンアップ&フラップダウン&エレベーターダウン。 特にブレーキ時の頭上げ補正のエレベーター量(カーブ設定で細かく調整可)は 必ず上空でテストして舵角を設定願います。
P154	トリムミックス	スピードモードでエルロン&フラップアップ(ネガティブキャンバー設定)。 サーマルモードでエルロン&フラップダウン(プラスキャンバー設定)。 頭上げや頭下げなどの姿勢変化に対するエレベーターの補正量は、 必ず上空でテストして舵角を設定願います。
P98	警告	電源 ON 時にモータースイッチが ON の時、警告音がなるように設定

*1: このオフセットを設定で、サーボを+/-両側で動作するようにします(サーボモニターで確認)。

以上の設定はあくまで一例です。実際に飛行して、お客様の好みで調整・変更下さい。